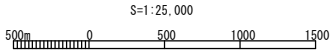
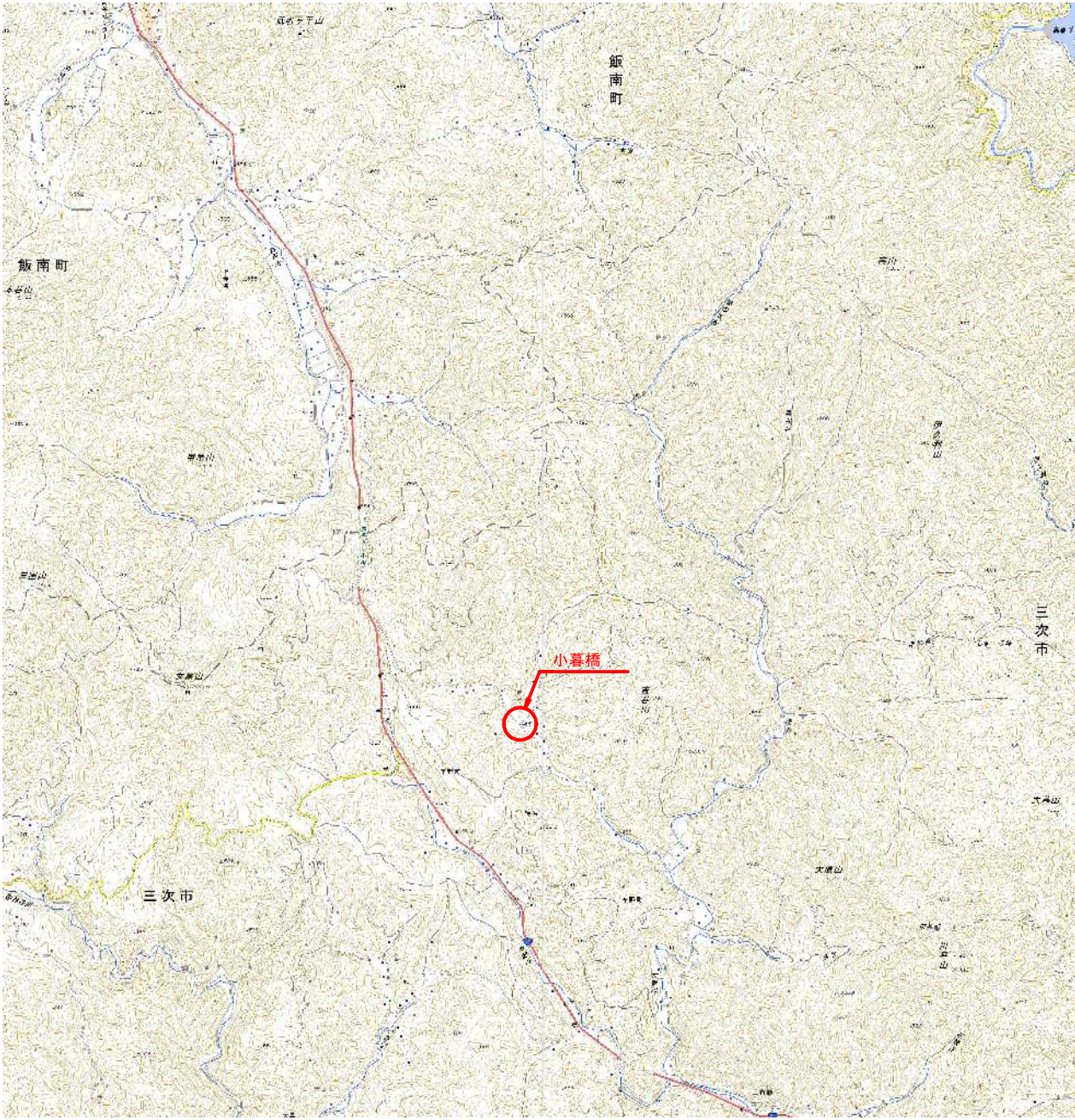
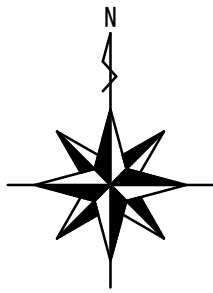


位置図

S=1:25000



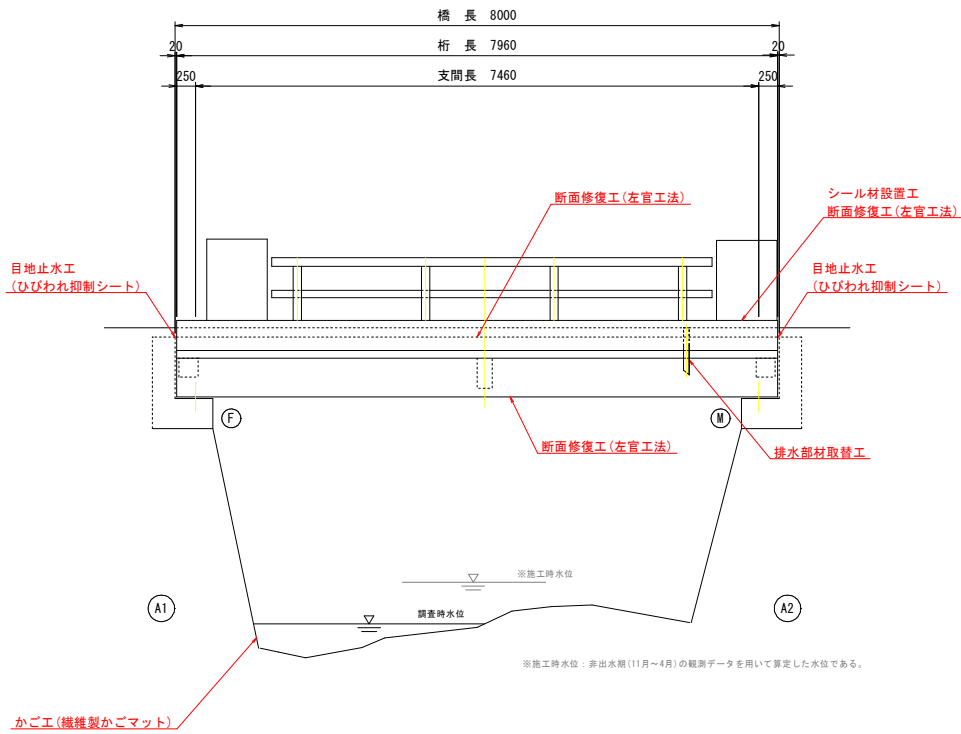
国土地理院発行 地形図「樺田」「赤名」

【小暮橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	位置図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

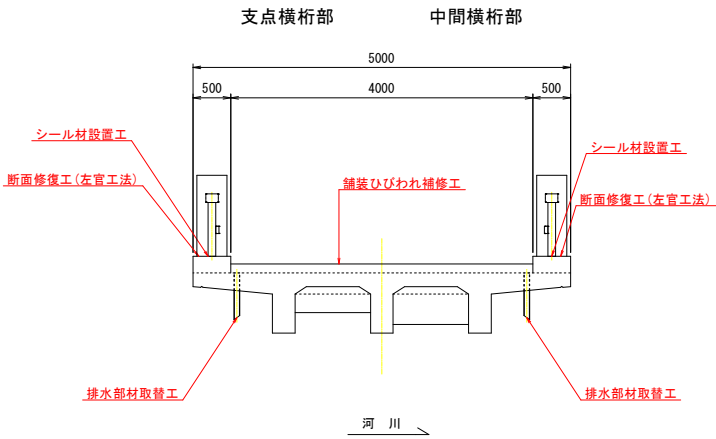
小暮橋 補修一般図

S=1:50

側面図



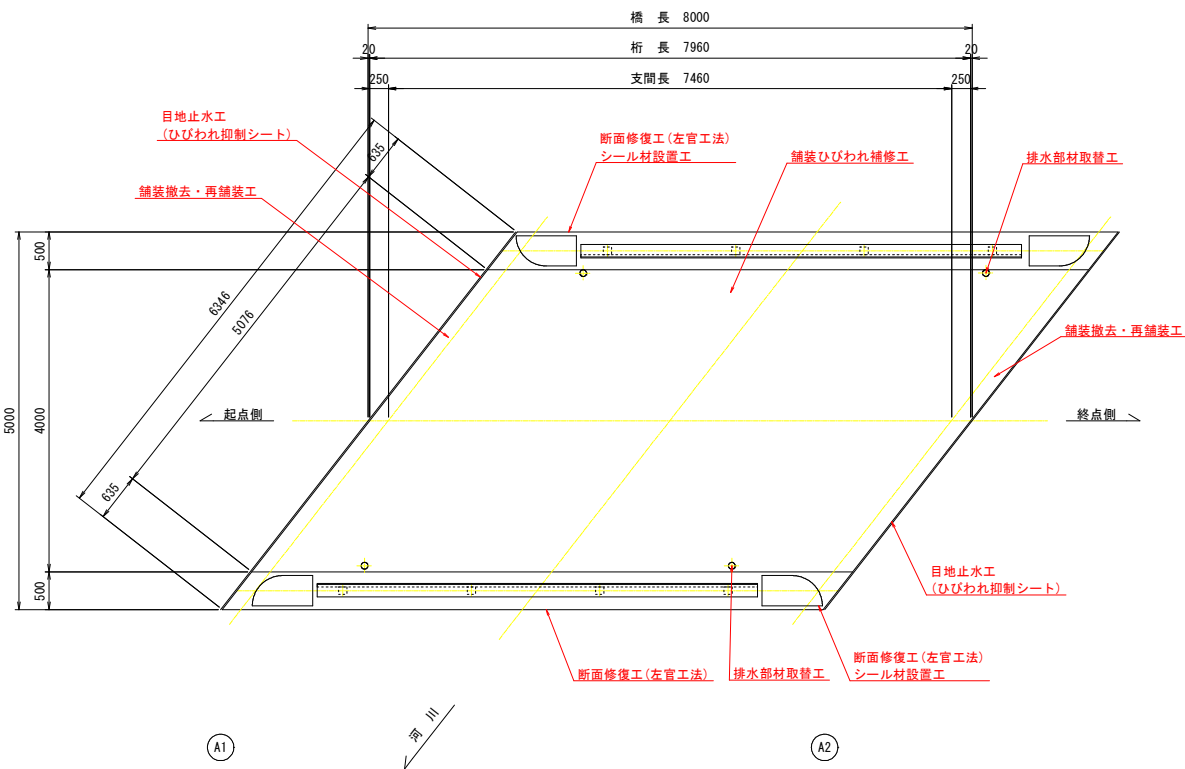
断面図



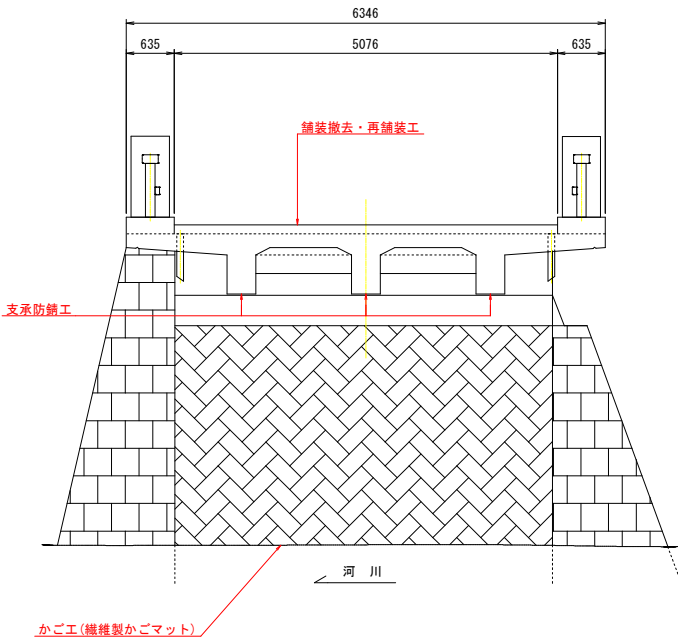
補修項目一覧表

部 位		工 種	損傷判定区分
上部工	床 版	断面修復工 (左官工法)	B, C1
	主 桁	断面修復工 (左官工法)	B, C1
下部工	基礎	かご工 (繊維製かごマット)	C1
支承部	A1・A2橋台	支承防錆工	C2
路上	舗装	舗装撤去・再舗装工	C1
		舗装ひびわれ補修工	C1
	伸縮装置	目地止水工 (ひびわれ抑制シート)	C1
	排水管	排水部材取替工	B, C1
	地覆	断面修復工 (左官工法)	C1
		シール材設置工	C1

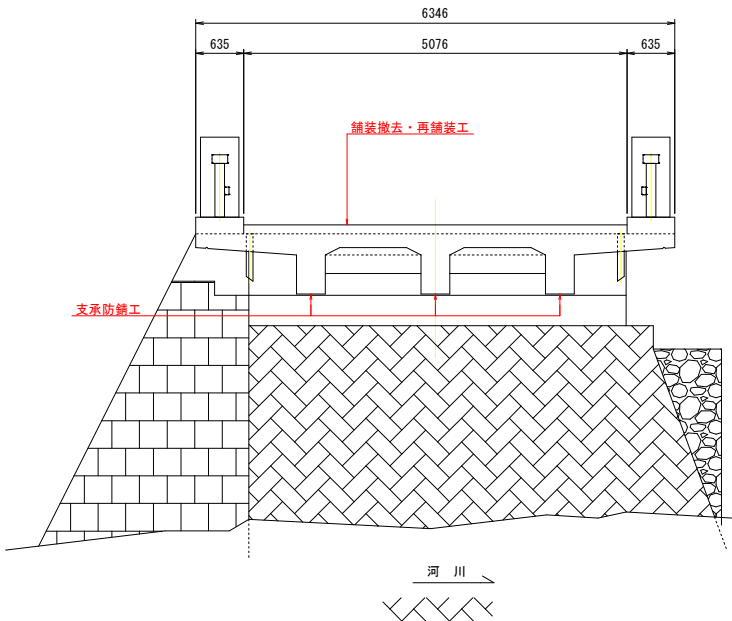
平面図



A1橋台



A2橋台



注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。

【小暮橋】

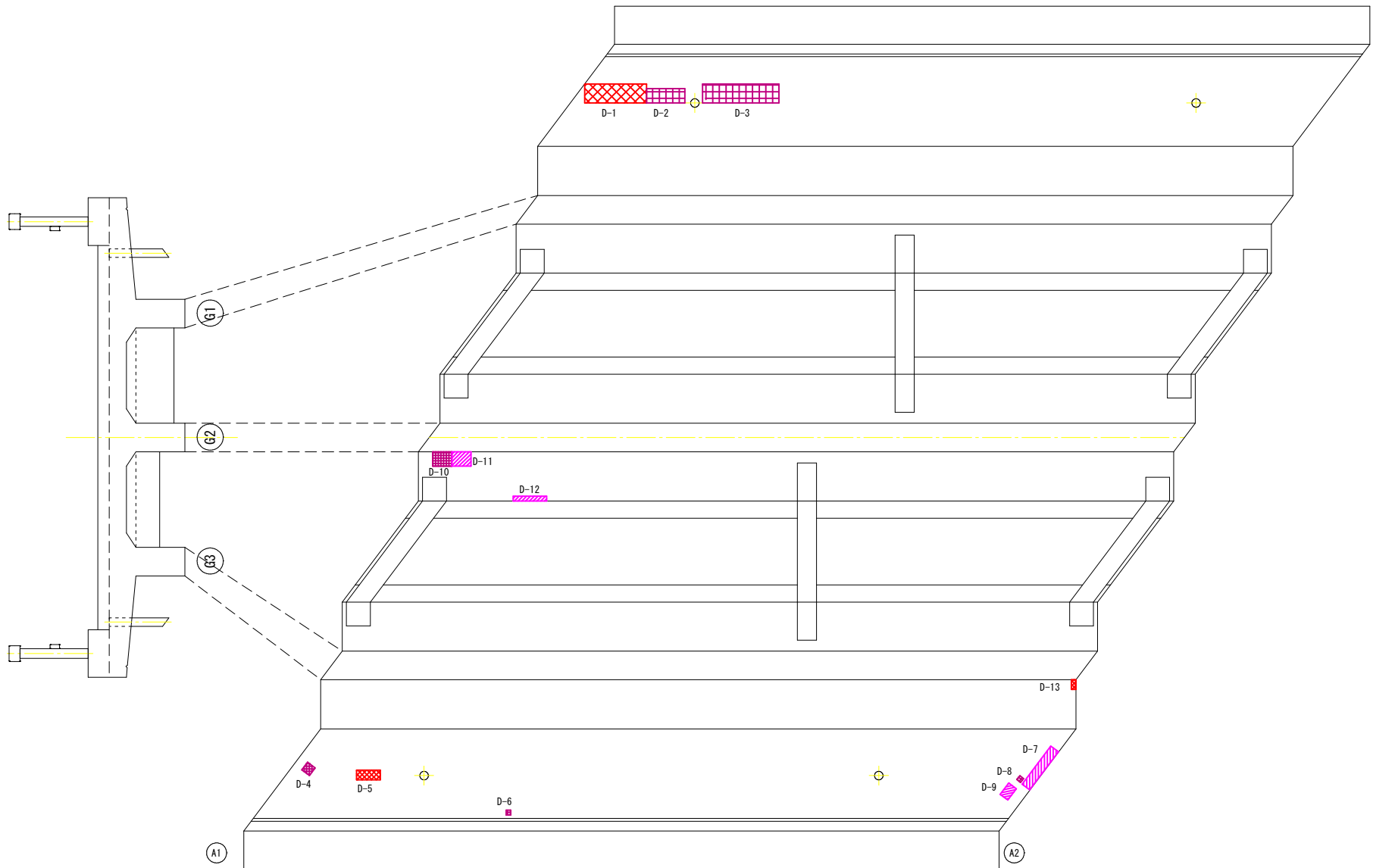
工事名	設計第34号橋梁整備設計業務委託 (15m未満)		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	2 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

小暮橋 補修図(その1)

S=1:30

1径間（桁下面）

断面修復工（左官工法）

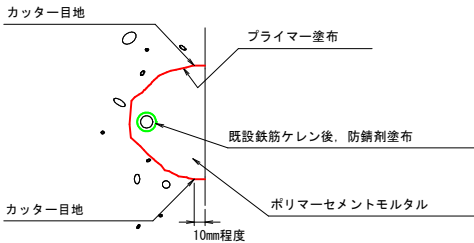


凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

断面修復工詳細図（左官工法）



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（床版、主桁）						
D-1	剥離	0.20	0.65	50	0.1300	0.00650
D-2	鉄筋露出	0.15	0.40	50	0.0600	0.00300
D-3	鉄筋露出	0.20	0.80	50	0.1600	0.00800
D-4	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-5	剥離	0.10	0.25	50	0.0250	0.00125
D-6	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-7	欠損	0.10	0.50	50	0.0500	0.00250
D-8	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-9	うき	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-10	鉄筋露出	0.15	0.20	50	0.0300	0.00150
D-11	うき	0.15	0.20	50	0.0300	0.00150
D-12	うき	0.05	0.35	50	0.0180	0.00090
D-13	剥離	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
合計					0.5390	0.02695

【小暮橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

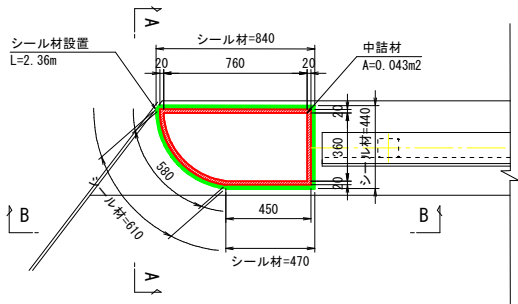
小暮橋 補修図(その2)

S=1:50

1径間（橋面）

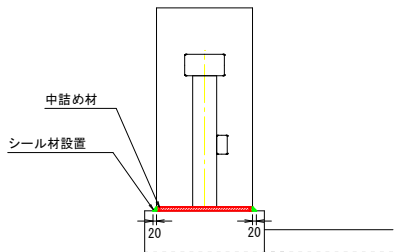
断面修復工(左官工法), シール材設置工

“a”部拡大図



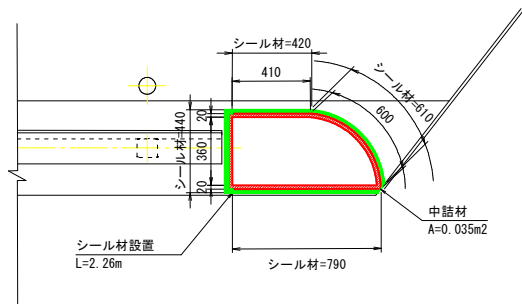
埋戻し施工数量
A=0.043 A=0.035 (CAD計測)
V=(0.043+0.035)×0.02=0.00156

A-A

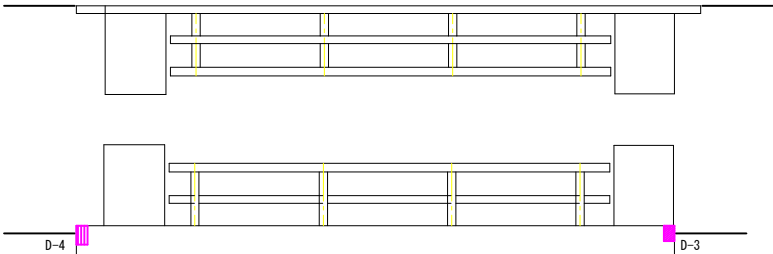
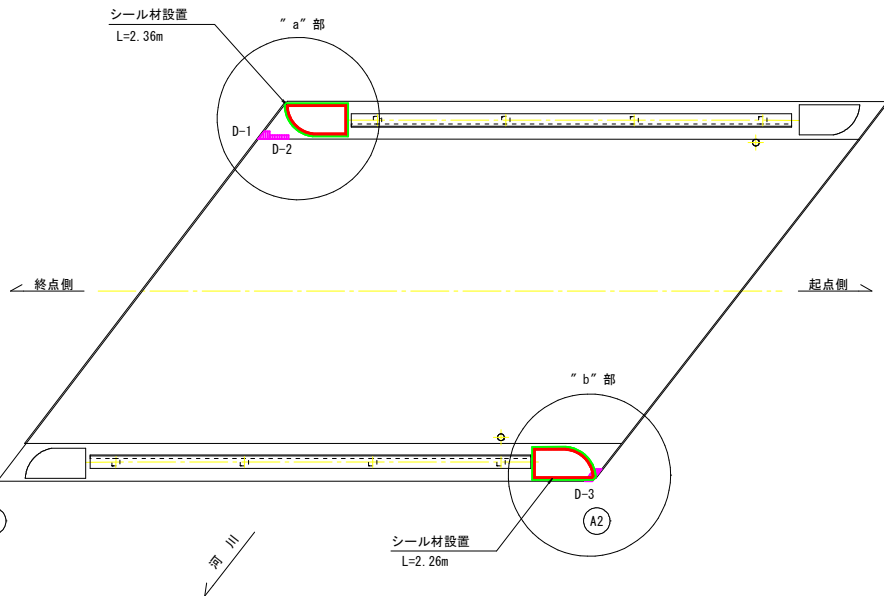
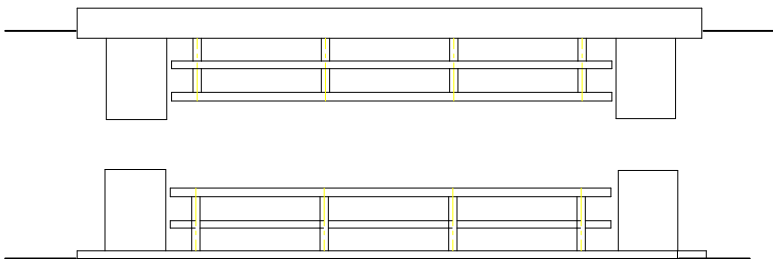
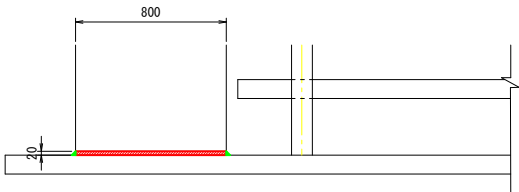


※施工前にポリマーセメントを手作業にて奥行き20mm程度埋め戻す。
埋戻し施工後、表面にシール材設置。

“b”部拡大図



B-B

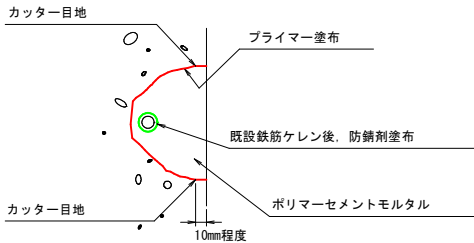


凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定
すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表(左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m ²	断面修復材 体積 m ³
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（橋面）						
D-1	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-2	欠損	0.05	0.25	50	0.0130	0.00065
D-3	うき	0.20	0.30	50	0.0600	0.00300
D-4	欠損	0.15	0.25	50	0.0380	0.00190
合計					0.1260	0.00630

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

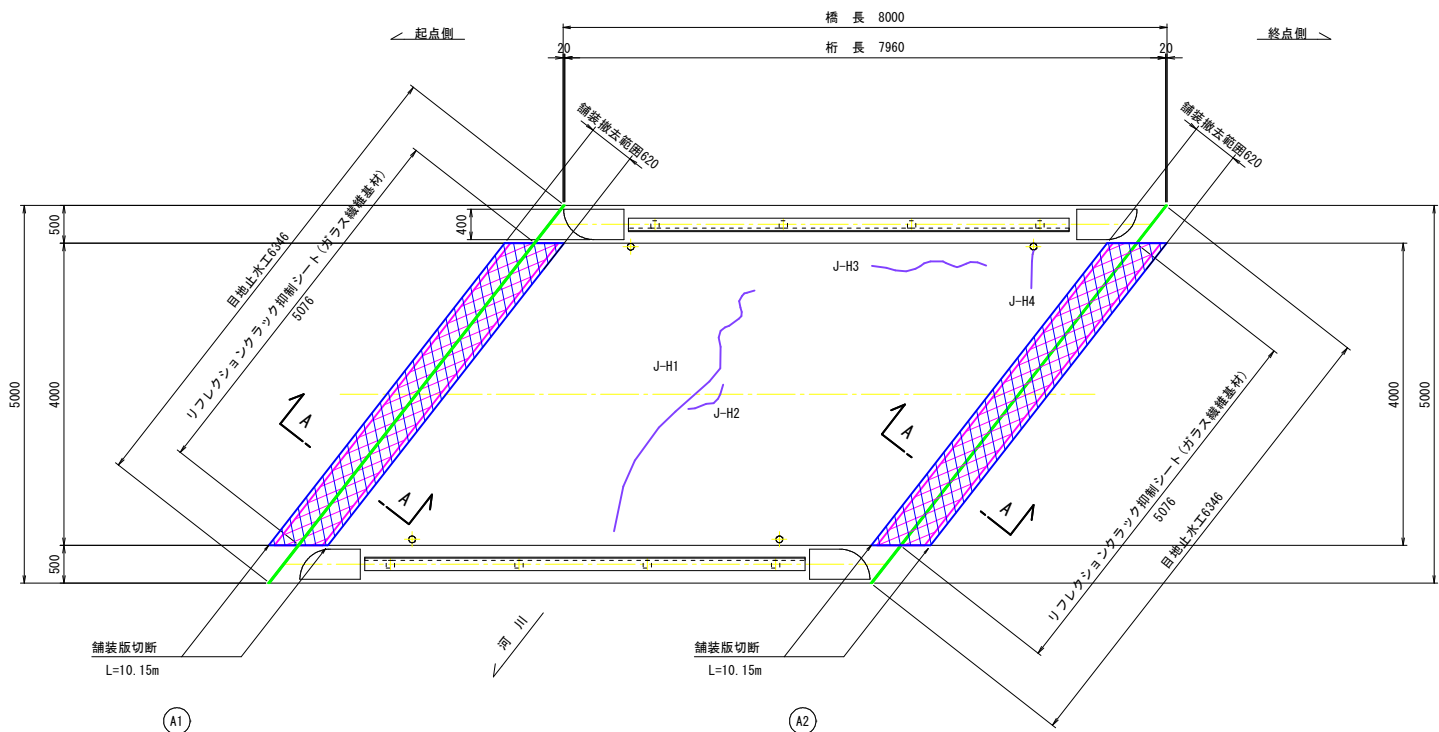
【小暮橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:20	図面番号	4 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

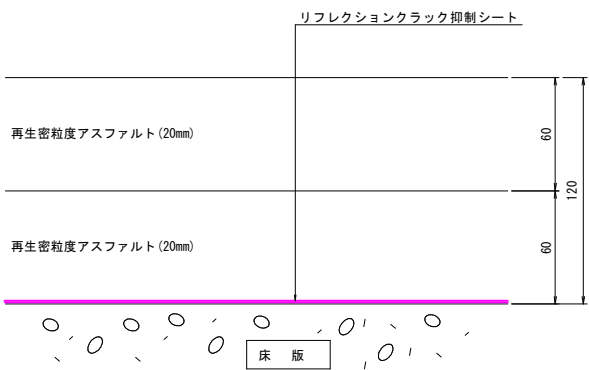
S=1 : 50

舗装撤去・再舗装工、舗装ひびわれ補修工、目地止水工

平面图

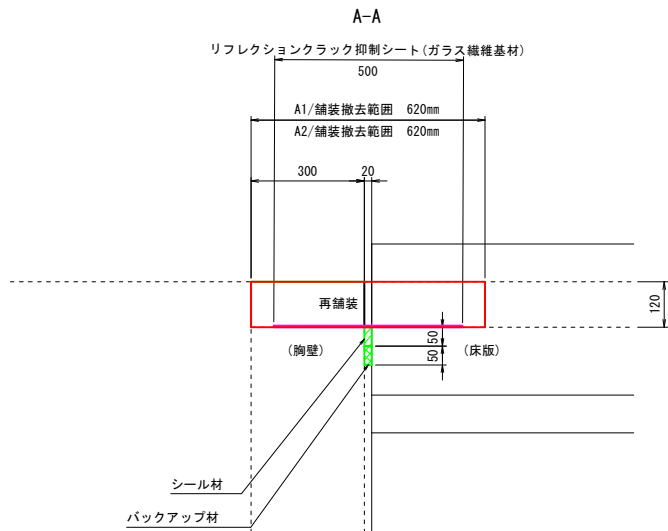


舗装構成図

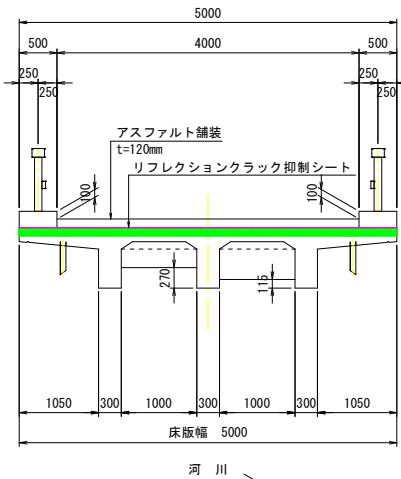


端部防水処理詳細図

S=1:10



断面図



凡例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
 高さ (mm)	ひびわれ（開口幅0.2mm未満）
 幅 × 長さ (mm) (mm)	ひびわれ（開口幅0.2mm以上0.5mm未満）
 幅 × 長さ (mm) (mm)	ひびわれ（開口幅0.5mm以上1.0mm未満）
 幅 × 長さ (mm) (mm)	ひびわれ（開口幅1.0mm以上）
 縦 × 横 (mm) (mm)	剥離
 縦 × 横 (mm) (mm)	鉄筋露出
	遊離石灰
 縦 × 横 (mm) (mm)	うき
	その他
 縦 × 横 (mm) (mm)	豆板・空洞
 幅 × 長さ (mm) (mm)	路面のクラック
	漏水・滞水
 縦 × 横 (mm) (mm)	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

舗装ひびわれ充填工数量

損傷 番号	損傷	損傷範囲	
		幅 mm	長辺 mm
路上（舗装）			
J-H1	舗装の異常	3.00	4000
J-H2	舗装の異常	3.00	650
J-H3	舗装の異常	3.00	1600
J-H4	舗装の異常	3.00	500
		合計	6750

鋪裝破碎工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	20.3	
舗装撤去工	アスファルト舗装版 15cm以下 t=120mm	m ²	6.30	
殻運搬	アスファルト殻	m ³	0.76	
殻処分	アスファルト殻	m ³	0.76	W=1.79t

鋪裝補修工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
表層	密粒度(20), タックコート t=60mm	m ²	6.30	
基層	密粒度(20), プライムコート t=60mm	m ²	6.30	

目地止水工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
リフレクションクラック抑制シート	W=500 ガラス繊維基材	m	10.2	
シール材	変性シリコン	?	12.7	
バックアップ材	20×50	?	12.7	

【小暮橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	5 / 11
会社名	中電技術コンサルティング株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

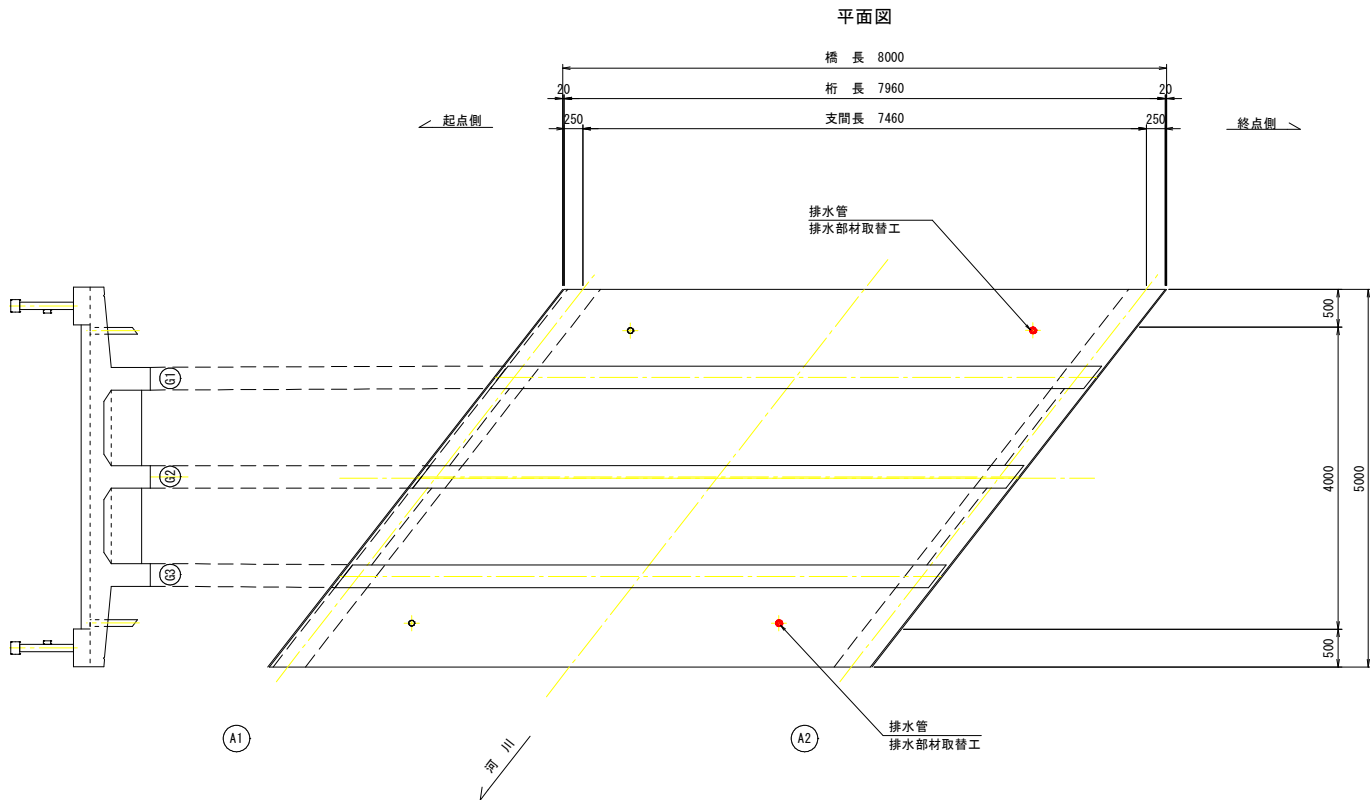
- 1) 本図は、橋梁定期点検調書を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

小暮橋 補修図(その4)

S=1:50

1径間(桁下面)

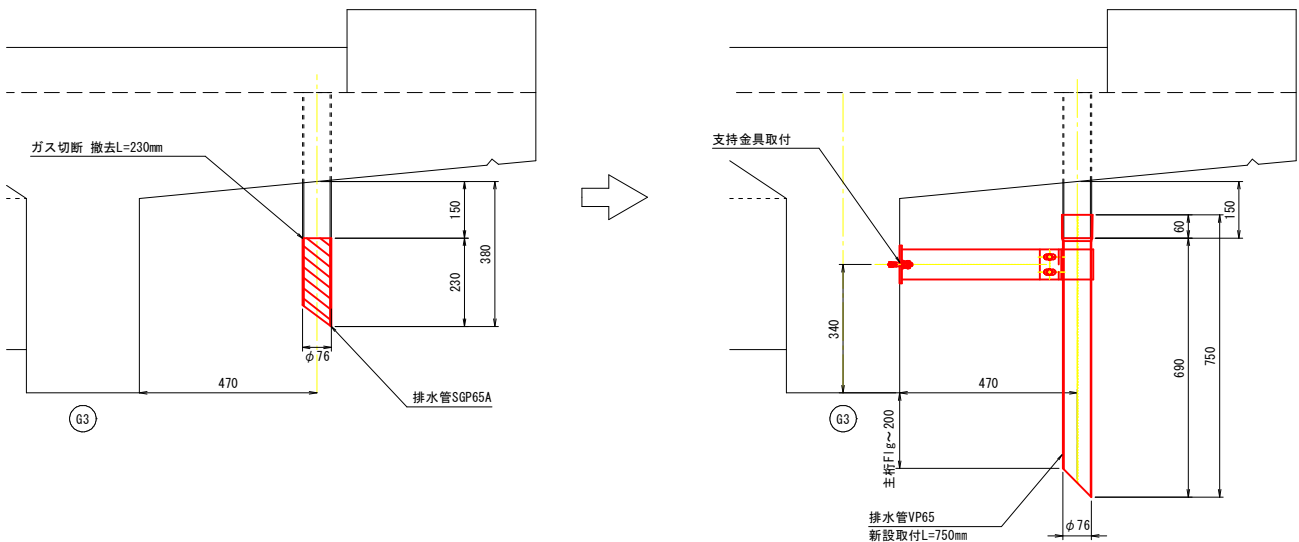
排水部材取替工



排水部材取替工

S=1:10

施工箇所:2箇所

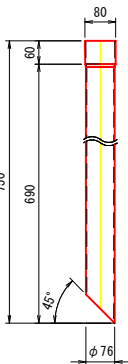


加工管

S=1:10

VP65 (スリーブ加工)

<製作数:2>

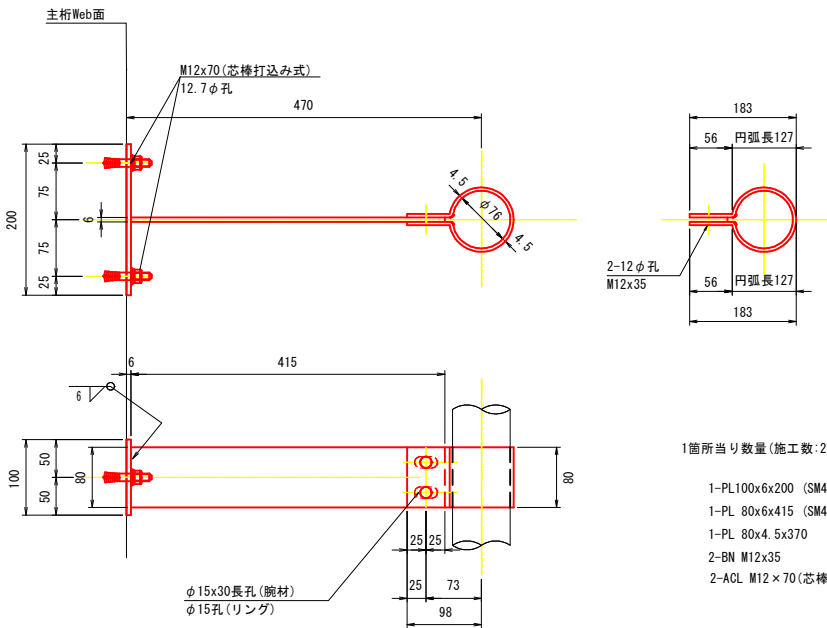


施工手順



排水管支持金具

S=1:5



1箇所当り数量(施工数:2箇所)

- 1-PL100x6x200 (SM400)
1-PL 80x6x415 (SM400)
1-PL 80x4.5x370
2-BN M12x35
2-ACL M12x70(芯棒打込み式)

- 注記)
- 1) 本図は、橋梁定期点検調査と現地調査結果を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4) 特記なき鋼材は全てSS400とする
5) 鋼部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49~HDZT77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

【小暮橋】

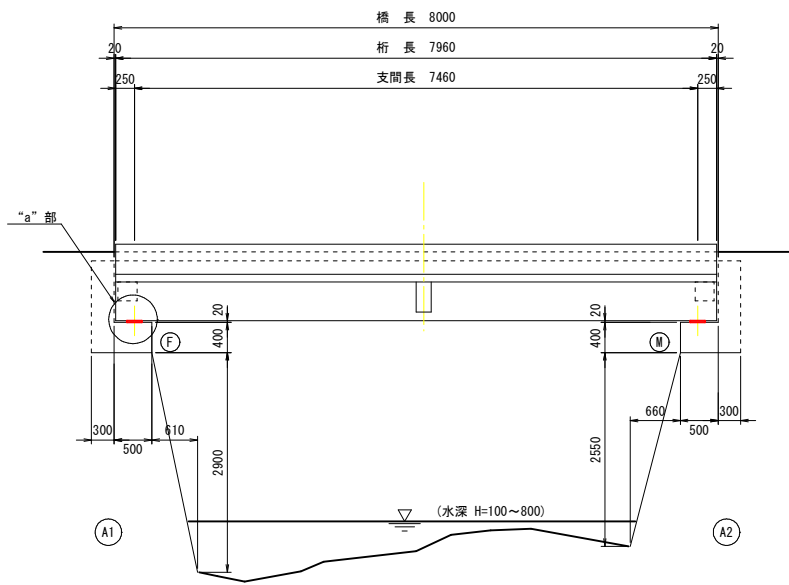
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その4)		
作成年月日	令和5年3月		
縮尺	1:50	図面番号	6 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

小暮橋 補修図(その5)

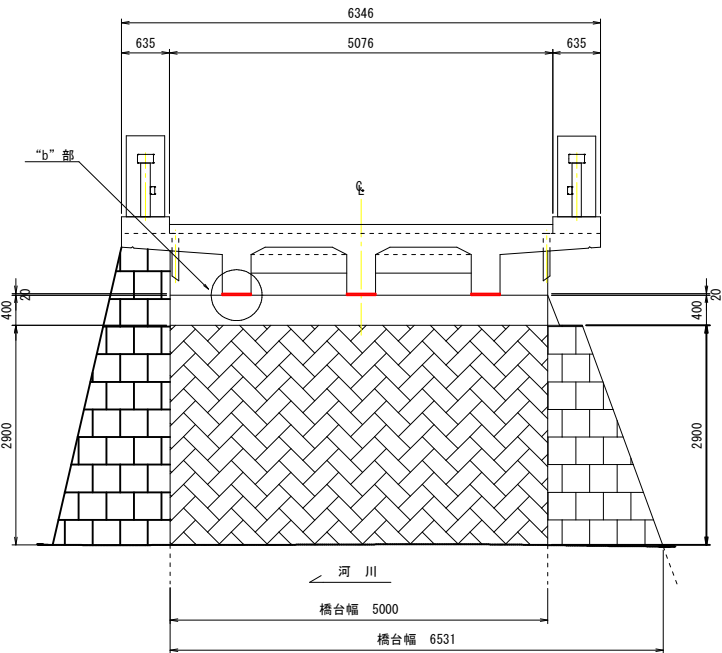
S=1:50

支承防錆工詳細図(1)

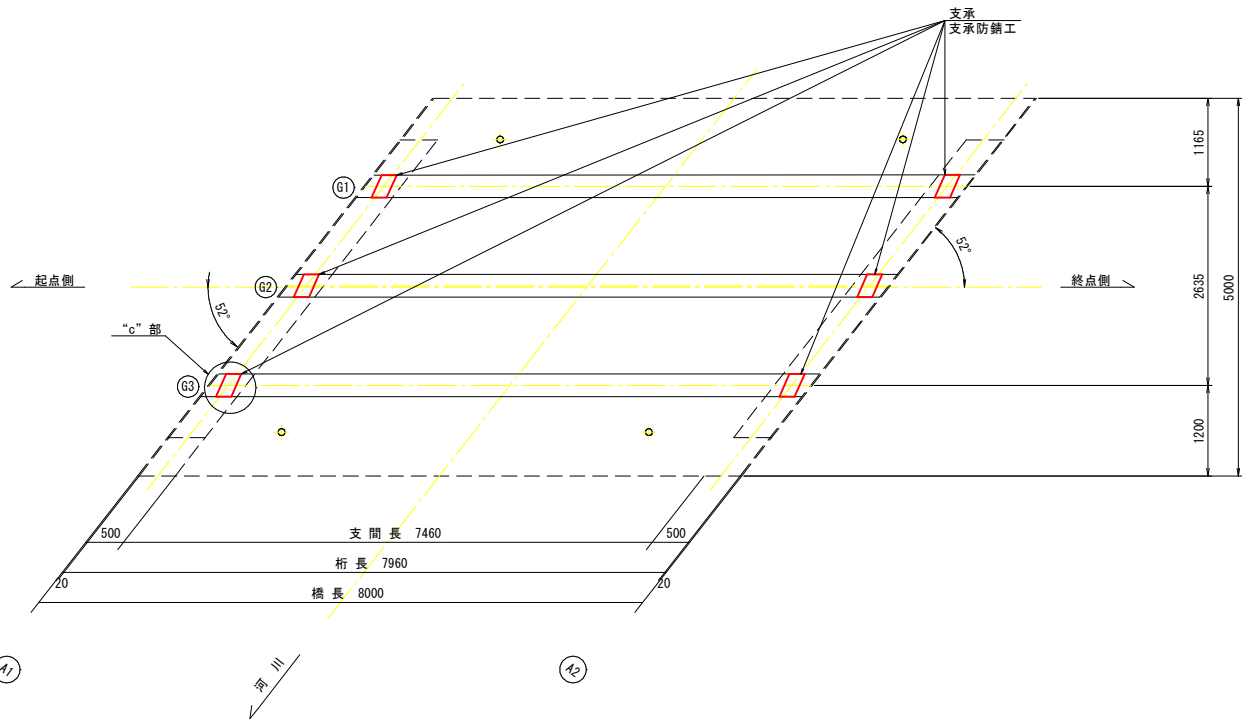
側面図



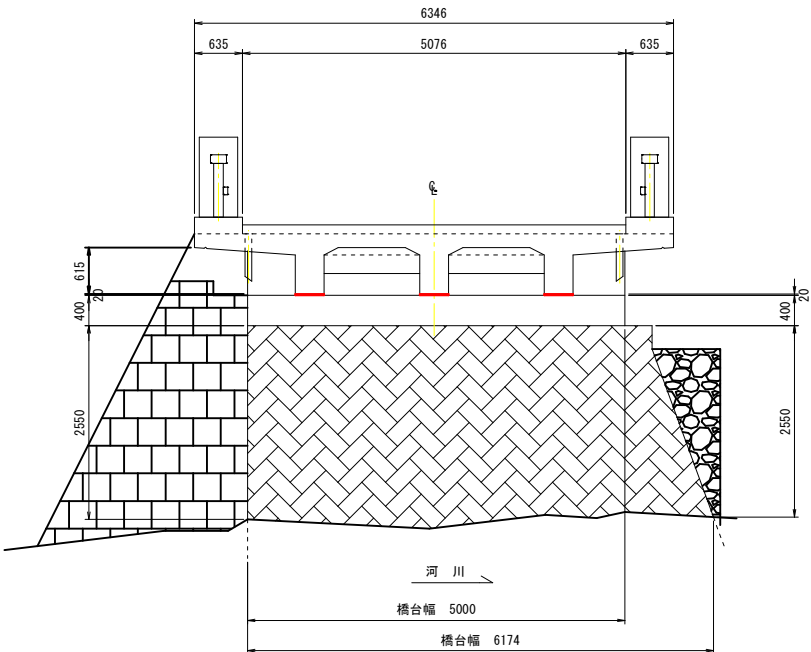
A1橋台



平面図



A2橋台



注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
4) 支承防錆工施工にあたっては、狭隘部であるため手作業可能範囲で施工のこと。

【小暮橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その5)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	7 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

小暮橋 補修図(その6)

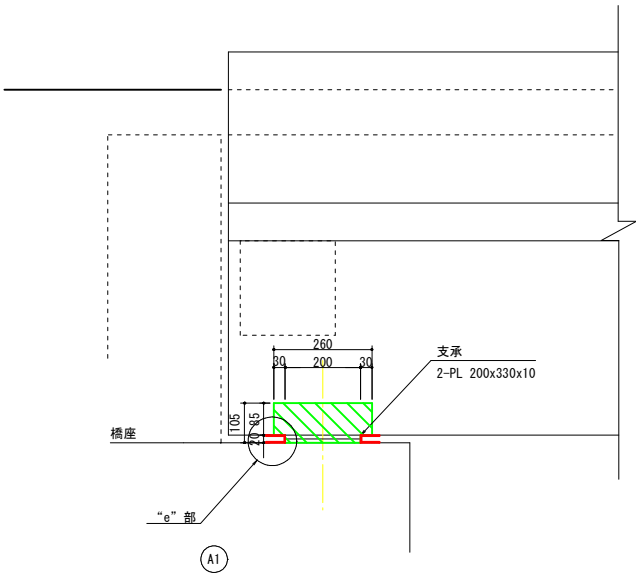
S=1:10

支承防錆工詳細図(2)

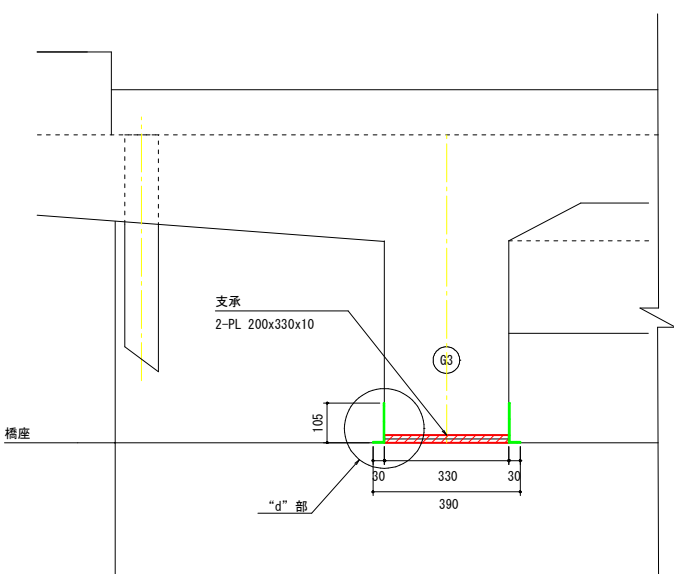
凡例

補修工法	
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部①
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部②

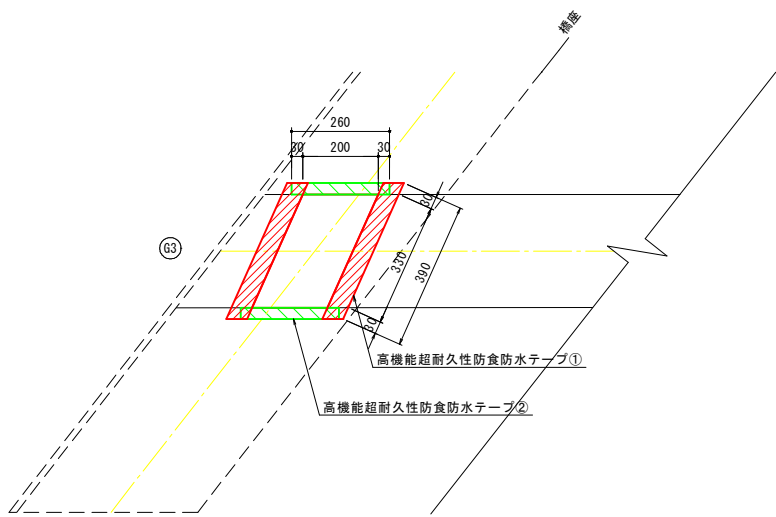
“a”部側面図



“b”部断面図



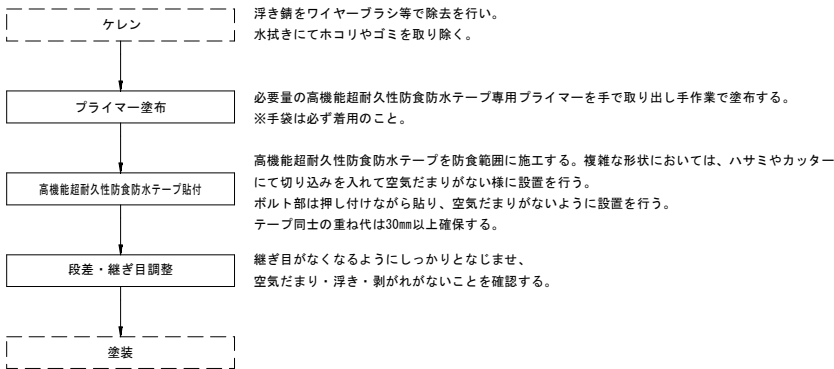
“c”部平面図



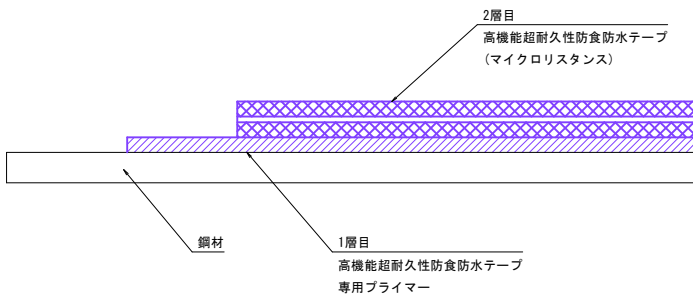
高機能超耐久性防食防水テープ設置数量表

	部位名	サイズ	面積	枚数	小計
①	正面	120 × 390	0.047	12	0.562
②	側面	135 × 260	0.035	12	0.421
合 計 面 積					0.983

高機能超耐久性防食防水テープ設置エ
フロー図

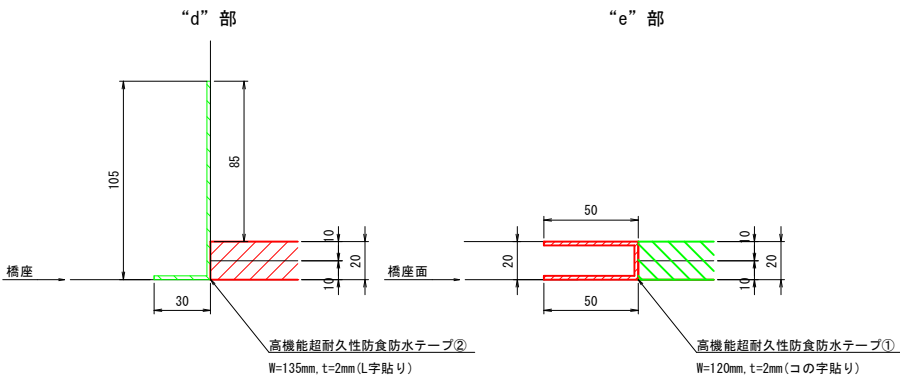


高機能超耐久性防食防水テープ
システム断面図



貼り付け詳細図

S=1:2



手順)

1. 下地処理(3種ケレン相当)を行い、プライマーを塗布する。
 2. 高機能超耐久性防食防水テープを支承に巻きつけ、手やコテを用いて貼り付ける。
- ※ 形状に応じてハサミやカッターで切込みを入れて空気だまりできないように留意すること。
また、テープ同士の重ね代は30mm以上とすること。

注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- 4) 支承防錆工施工にあたっては、狭隘部であるため手作業可能範囲で施工のこと。

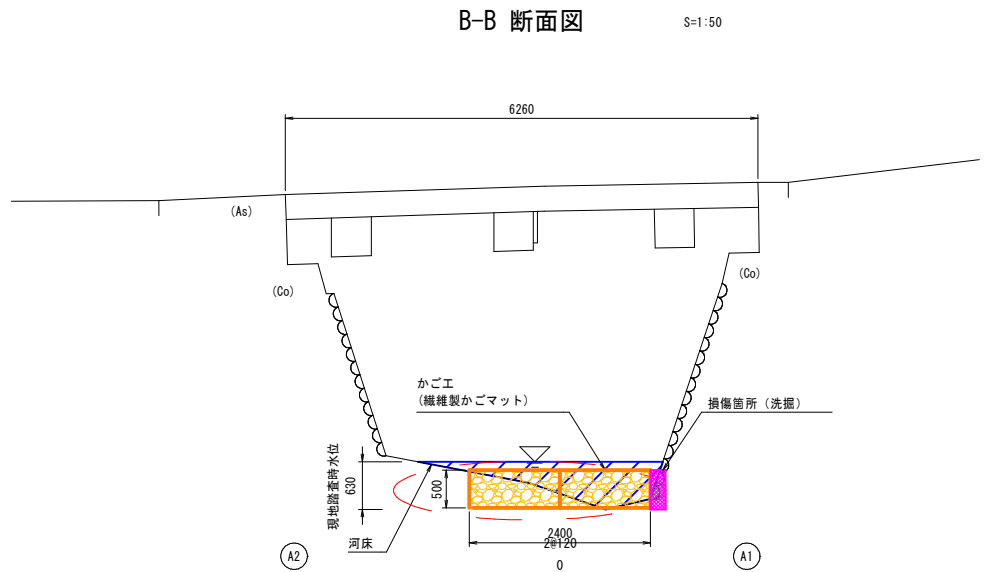
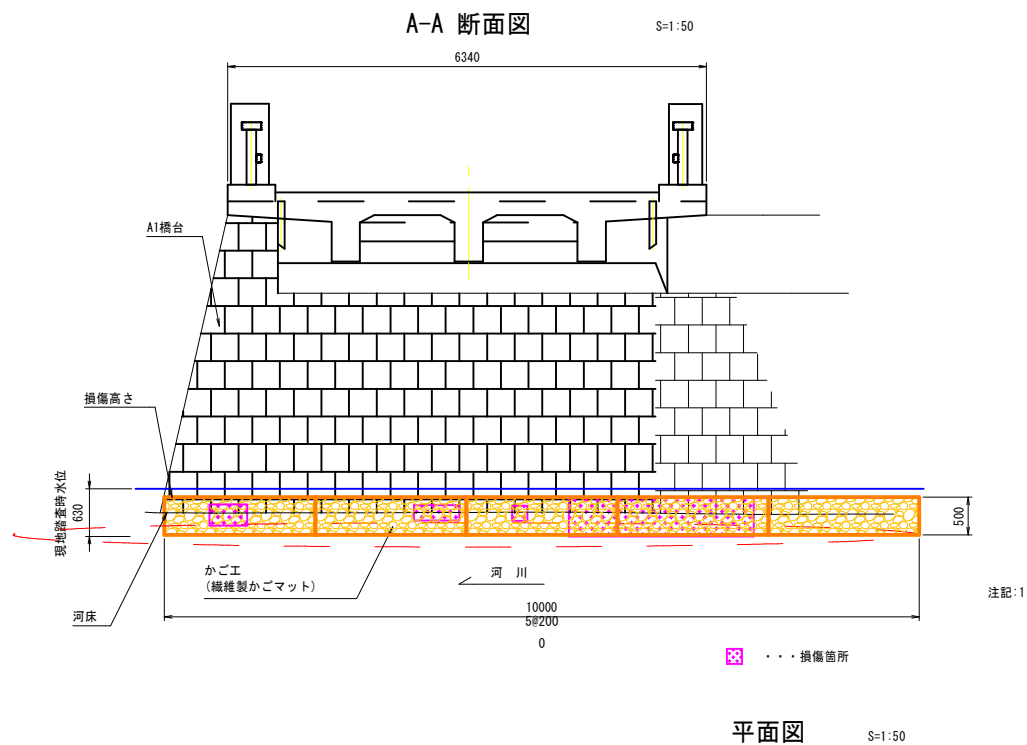
【小暮橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その6)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

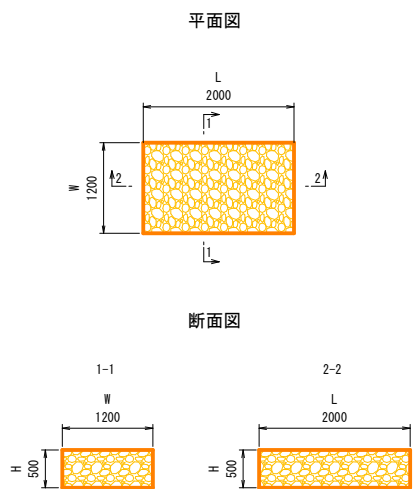
小暮橋 補修図(その7)

S=1:50

かごエ



かごマット出来形 参考図



注記:2
出来形寸法は中詰め材(φ64mm程度のもの)投入後を想定した出来形参考値。
現場によって石の大きさ、比重、粒径等が異なるため、幅、長さ、および高さが変わる場合がある。現場にて調整すること。

かごエ数量表

細目	規格	単位	数量	摘要
繊維製かごマット	L2000×W1200×H500	基	10	中詰め材投入前寸法 L1950×W1150×H500

【小暮橋】

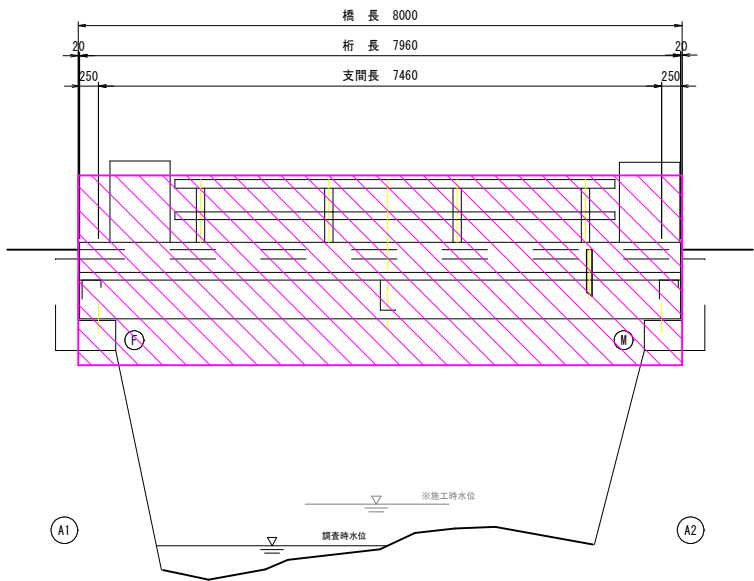
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その7)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	9 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記:3
1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
2) 地形図は道路台帳と現地踏査により作成。測量図ではないため現地にて計測のこと。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

小暮橋 仮設計画図(参考)

S=1:50

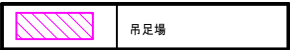
側面図 S=1:50



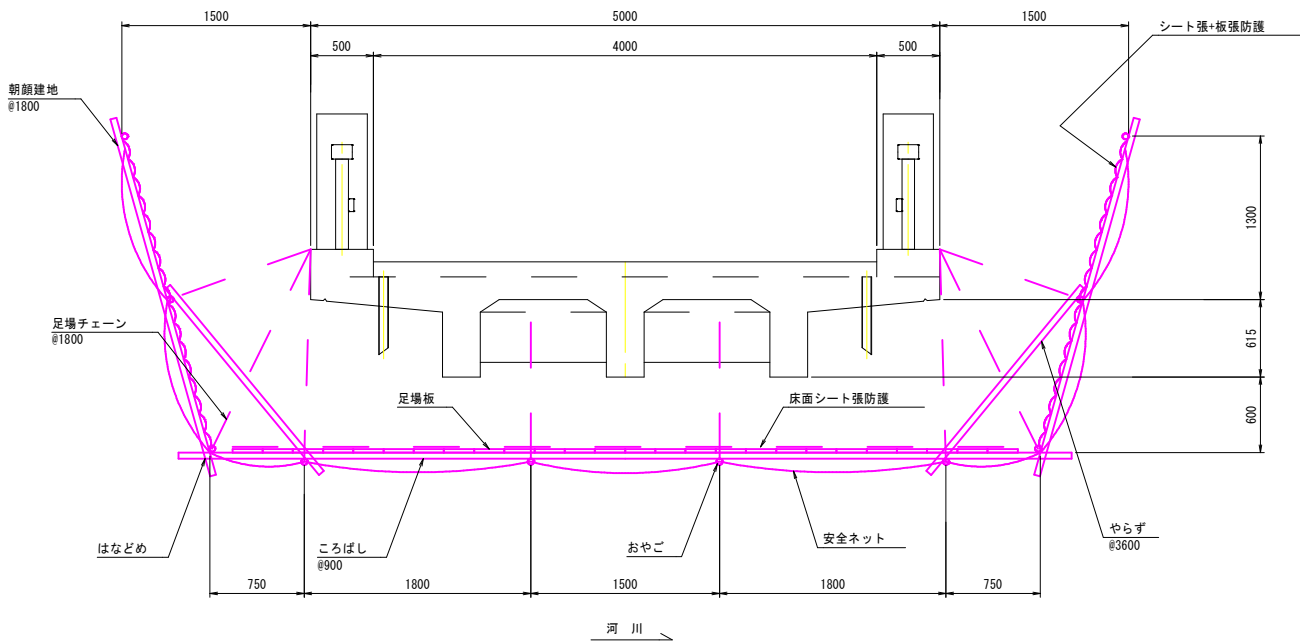
※施工時水位：非出水期(11月～4月)の観測データを用いて算出した数値である。

吊足場数量
8.00×5.00 = 40.00 m2
合計 = 40.00 m2

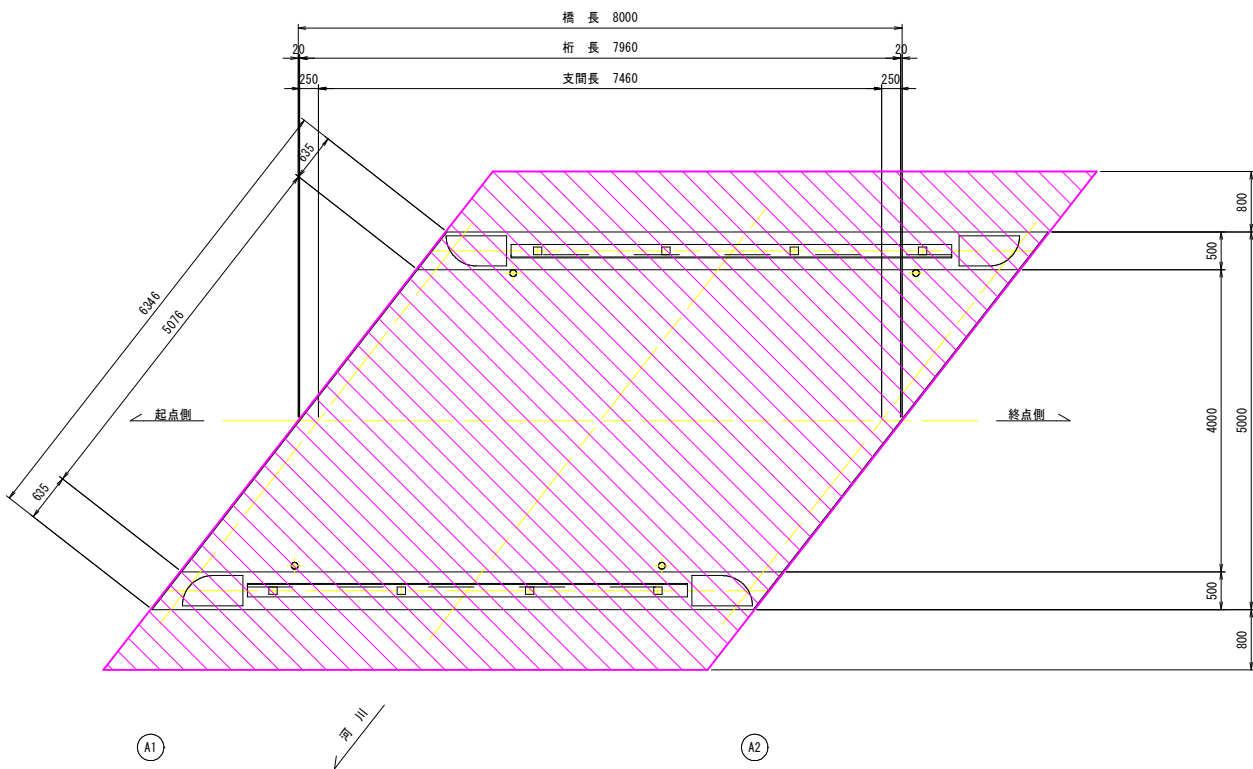
凡 例



断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



【小暮橋】

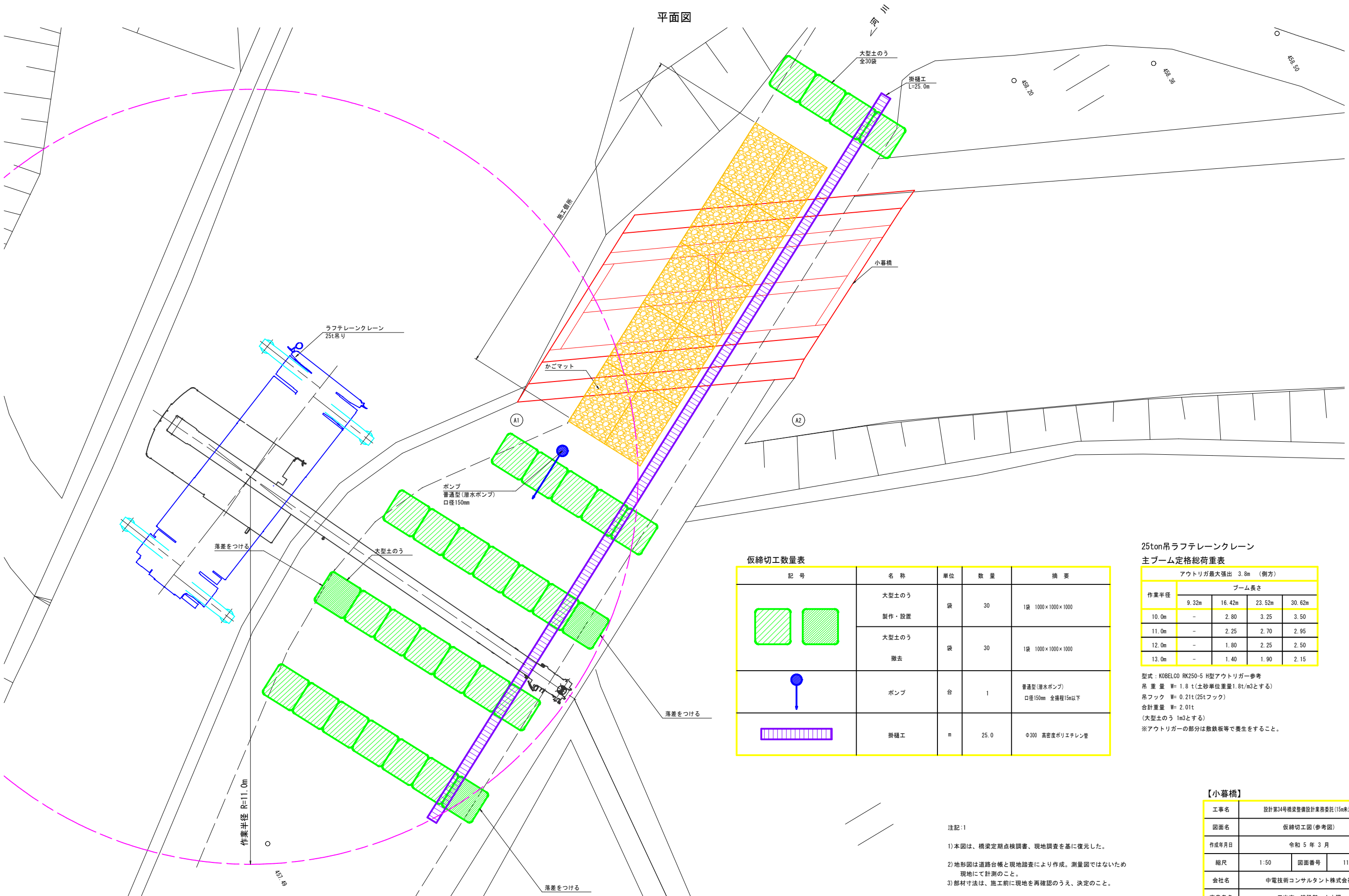
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮設計画図(参考)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:30	図面番号	10 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
2) 仮設足場設置の際は、周辺状況を確認し、十分な安全確認を怠らないこと。
3) 施工の際は、周辺の利用者等の交通に支障をきたさないよう留意して施工のこと。

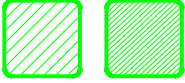
小暮橋 仮締切工図(参考図)

S=1:50

平面図



仮締切工数量表

記 号	名 称	単位	数 量	摘 要
	大型土のう 製作・設置	袋	30	1袋 1000×1000×1000
	大型土のう 撤去	袋	30	1袋 1000×1000×1000
	ポンプ	台	1	普通型(潜水ポンプ) 口径150mm 全揚程15m以下
	掛樋工	m	25.0	φ300 高密度ポリエチレン管

25ton吊ラフテレーンクレーン
主ブーム定格総荷重表

アウトリガ最大張出 3.8m (側方)				
作業半径	ブーム長さ			
	9.32m	16.42m	23.52m	30.62m
10.0m	-	2.80	3.25	3.50
11.0m	-	2.25	2.70	2.95
12.0m	-	1.80	2.25	2.50
13.0m	-	1.40	1.90	2.15

型式：KOBELCO RK250-5 H型アウトリガー参考
吊 重 量 W= 1.8 t(土砂単位重量1.8t/m3とする)
吊フック W= 0.21t(25tフック)
合計重量 W= 2.01t
(大型土のう 1m3とする)
※アウトリガーの部分は敷鉄板等で養生をすること。

【小暮橋】

工事名	設計第34号橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮締切工図(参考図)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮 尺	1:50	図面番号	11 / 11
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記:1

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
- 2) 地形図は道路台帳と現地踏査により作成。測量図ではないため
現地にて計測のこと。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。